

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 9月 17日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490201161		
法人名	有限会社 サカグループ		
事業所名	グループホーム ガーデンの家川内		
所在地	広島市安佐南区川内5丁目1-9 (電話) 082-831-4165		
自己評価作成日	令和2年8月28日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490201161-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年9月10日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

地域に密着した事業所作りを目指しています。地域活動がコロナの影響で、思うようにできていませんが、地域の行事に参加したりお店に買い物に行ったりしたいと考えています。こういった活動から、最後の10年が最高の10年になるように利用者様の生活をサポートできればと考えています。個人個人に対しては、ケアプランに基づいてケアをチームで行い、主治医と連携を密にして健康管理を行っていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

建物内に看護小規模多機能型居宅介護事業所と訪問看護ステーションを併設しており、医療面での連携がスムーズに行われ、平素のケアに反映できる体制となっている。法人グループ全体の運営基盤が整っており、職員は現場の意見や提案を表出しやすい体制となっており、職員は更に活用しやすい記録書式・個別ケア・就業環境などをチームで検討しており、業務の改善に前向きである。利用者にとって「最高の10年に」なるようにと一人ひとりの暮らしを支えながら、地域交流や外出支援、要望に沿った役割づくりなどに取り組んでいる。現在は、新型コロナウイルス感染症対策の為、家族面談やイベントなど自粛中であるが、代替の支援として、壁面の手作り桜で花見気分を楽しんだり、家族・孫とのリモート面談やブログ発信などを続けており、本人と家族に対しても、思いやりを持った関わりに取り組んでいる事業所である。

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝礼時、社内研修時における理念の唱和を行っている。	開設時、同建物内の地域密着型サービス事業所の職員みんなの言葉を結集させ事業所理念が明文化された経緯がある。地域交流室にも掲示し、職員各々が持つ携帯ハンドブックにも明記されている。事業所理念の下に、毎年の事業所目標と具体的なチャレンジ目標を定め、定期的に管理者と共に進捗状況を確認しており、理念を意識しながら実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域交流の場として、餅つき大会・夏祭りなど実施している。そのおかげで地域の方より、野菜の寄付がある。	町内会の回覧板で地域行事の情報を得て、利用者と共にとんど祭り等に参加している。秋祭りには「利用者のために」と神輿が寄ってくれるようになった。現在、コロナ禍の為、恒例イベントが中止となっているが、短時間の散歩時には近隣の人と挨拶を交わし、時には採れた野菜のおすそ分け等がある。地域住民から認知症に関する相談を受ける事もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	施設内でとどまっているように感じる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在は奇数月に開催(町内会長、民生委員)しており、その内容を自社ミーティングにて活用している。	毎回、学区地区社協や町内会、民生委員の出席があり、併設の看護小規模多機能型居宅介護と合同で開催している。コロナ禍で、直近の3回は資料配布にて事業所の様子や取組みを伝え、身体拘束・災害時やコロナ対応などに関して要望や意見を得ており、サービス向上に繋がるよう検討している。	運営推進会議には、地域代表の方々に加え、利用者・家族・地域包括支援センター・行政関係からの参加が得られ、工夫されるよう望みます。より多方面からの情報や意見の交換が行われた結果が、サービスの質向上に繋がるなど、次のステップにむけた取組みを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	会社としては、不明な点は連絡を取り合い、協力関係は築けている。一個人としては取り組めていない点が合える。	不明な点は法人を通じて市町からの情報を得ながら連携をとっている。直近では地域包括支援センターから郷土伝統芸能の「矢口の手踊り」の講師依頼がある等、協力関係を続けている。	

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>リスク身体拘束委員会の開催(月1回)家族報告や記録物にも詳細を残しており、加えてリスク身体拘束委員会での共有を行っている。</p>	<p>身体拘束に関する研修を、職員全員が受講できるよう法人内の他の事業所と合同でリモートを使い3回に分けて開催するなど、コロナ禍でも工夫をしている。また毎月の身体拘束廃止委員会にて確認や検討を行っている。管理者は職員と具体的な対応を共に検討しており、社内ホットラインの整備など法人全体で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止に関する内部研修にて、知識も深めており、加えて社内コンプライアンス委員会にて、社内通報制度がある。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>後見人制度を理解する努力をしているが、職員によっては理解がまちまちである。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前に説明を行い、同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族面会時などに意見を伺う事はある。現在は、感染症対策の為、中止しているが、家族懇談会を開催し意見を聞いている。</p>	<p>現在、コロナ禍の為、面会や家族懇談会が開催できず、タブレットなどを用いてのズーム面談の時や、ブログ発信などを通じて家族からの声や要望を聞いている。災害時の備蓄に関する意見があり、運営に反映させるように努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全職員アンケートを行っている。実現可能な内容に関しては反映されている。</p>	<p>管理者は平素から職員とのコミュニケーションを大切にしており、話しやすい雰囲気作りに配慮している。職員個々の思いや要望を聴く機会として独自アンケートを実施し、一つひとつ共に検討している。アンケートや意見から、体位交換・保持用クッション購入や物置が設置された例がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人チャレンジ目標を基に、面談や相談の場がある。(2回/年) やりがい、向上心については、一律には難しい。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修参加の機会がある。また、資格取得に向けた支援体制(OJT・勉強会など)がある。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修などで退職したスタッフの転職先の会社に外部講師を依頼し、研修を実施した。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>新規利用者などの情報共有は、文書にてまとめ、他職員と共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族からの情報を基に、よりよい関係が築けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>家族、本人の意向を尊重し、段階的にケアの提供を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>出来ない事をさりげなく支援し、出来ることは任せる介護に配慮している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>外来受診時には、家族同行も依頼し、情報共有を行っている。面会については、現状直接面会の代替として、電話面会、ZOOM面会を行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族様とは関係構築が出来ているが、感染症対策に伴い、他との交流が途切れており、不安を感じている。</p>	<p>現在は感染症対策の為、利用者は家族や知人などと直接、会う事が出来ないが、職員は、電話やウェブの利用の支援や手紙代筆などを行い、馴染みの関係が途切れないように努めている。タブレットを用い、リモートで孫に会った例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の席移動に自由をもたせ、利用者同士の談笑支援行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された利用者であっても、次施設への情報共有や家族との傾聴を通し、関係を維持した。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	リスクを考慮しながら、ご本人の思いや希望を尊重し、フェイスシートの更新、アセスメントの修正を行っている。	利用者のひとり一人の思いや要望は、プロフィールやケアプランに記載して共有しており、日々の過ごし方も希望に添えるよう努めている。歌が好き、綺麗好き、肩もみなど、本人の意向に添ったケアに繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	フェイスシートに生活歴や経過などをまとめ介護にて活用している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の生活の様子を注意深く観察し、小さな変化にも気づき、把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>月1回のモニタリングを通して、利用者ごとの対応をチーム共有している。</p>	<p>職員は担当制で情報を収集し、計画作成者がアセスメント後、本人家族や医療スタッフとのカンファレンス後、具体的な介護計画を作成している。担当者は毎日、ケアの実施状況をチェック表に記載し、計画担当者が毎月のモニタリングとしてまとめている。現状に即したケアプランはチームで共有し日々のケアに活かされている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアの見直しについては、申し送りノート、ミーティングを活用する。支援が業務にならないようご本人に合わせて、行えるよう取り組んでいる。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家庭の料理などの持ち込み対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>散歩やマッサージなど筋力の低下にはならないように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>状態変化について訪問看護と協働して行っている。また、医療機関との連絡体制も出来ている。かかりつけ医とは、定期受診にて情報交換を行っている。</p>	<p>入居前の主治医を継続、或いは往診可能な医師の情報の中から本人家族がかかりつけ医を選択している。職員は、訪問看護と往診医との連携に努め、適切な医療が受けられるように支援している。他科受診時は家族の協力があるが、困難な時は職員が代行しており、体調や暮らしぶりが分かる受診表を持参し適切な情報提供を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	朝礼時に利用者の状態報告を行い、健康観察(1回/週)実施している、その上で医療機関への受診といった判断などを行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関の連携室との関係性も確保している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期について家族との話し合い、希望などを尊重し、看取り支援を行えている。	本人や家族の意向を踏まえ、医師からの説明の下、訪問看護師と連携をとりながら、安心して納得した最期を迎えられるようにチームで終末期ケアに取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを基に、研修や実地訓練などを行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難マニュアル、防災マップ作成した上で各種避難訓練の実施している。今後、水害訓練や地域での協力体制が未確立する必要がある。	年2回、職員と利用者が共に避難訓練を行い、そのうち1回は消防署の協力助言の下、避難誘導の確認や実際に消火器を使うなど実施している。事業所は、災害時における地域との協力体制がより具体的に築けるように委員会を設け、最善の対策を検討中である。	

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	スピーチロックを行わないよう丁寧な言葉使いを心掛け、目上への尊敬の念を持って接している。	特に排泄・入浴時の介助時や動作を促す時の声かけ・語調に気を付け、本人が自己決定をする場面を工夫するなどプライドを損なわないような対応に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定支援に関する取組みを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	自分らしい生活の配慮をし、多忙な業務に追われて、実現できない事もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には、ご自身での整容支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立の説明や味付けに興味を持ってもらえるように、調理などの家事動作に役割を持ってもらっているが、現在コロナ対応にて、様々自粛している。	食事は、真空パックの副食は湯煎で温め、みそ汁とご飯は利用者と共に作り付けをしている。現在、コロナ禍のため外食機会はないが、誕生会のちらし寿司やクレープ・プリンアラモードなど、利用者は積極的に調理やおやつの手作りに参加している。時にはカップ麺、手作り餅などで変化も取り入れて、食事を楽しむ支援がなされている。	

自己評価	外部評価	項 目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	個別の嗜好品購入依頼をしている。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	歯科の定期受診対応や毎食後スタッフでの口腔ケアも行っている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	トイレでの排泄を心掛けながら，排泄表を活用し，排泄習慣を把握し，介助に当たっている。	個々の排泄記録からトイレ誘導を行い，必要時はトイレの前傾姿勢支持テーブル型手すりを活用している。排泄自立に向け排泄記録表の改良を検討するなど，チームで排泄ケアに取り組んでいる。支援によりテーブル式おむつからリハビリパンツに変更できた例もある。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	排泄表を用いての排便・排尿管管理しながら，薬剤以外でも食品(乳製品)を活用し支援している。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	曜日や時間が決まっているが，入る入らないや，湯舟を使うかなど，個人の希望も踏まえながら様々対応している。	週2回の入浴日が決まっているが，気がすまない時は，無理強いを避け日を変更している。湯船には柚子湯やバスクリンを用い香りを楽しめるように支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項 目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	就寝時間の自由度が高く設定し、 寝具にも注意を払っている。さら に加えて昼寝という自由もある。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬情含めて、服薬管理に注意し、 連絡ノート活用し行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	敷地内、散歩やベランダでの日 光浴実施。 季節ごとのレクリエーションや お誕生日会の楽しみごとを増や している。 家事援助動作を行って頂いてい る。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。	現在、感染症対策にて外出出来 ていないが、通常であれば、買 い出しやゴミ出しを手伝ってら っている。	花見や水族館、外食など、季節 毎の外出や希望で近隣のホーム センターや地域行事などに出か けていたが、コロナ禍のため外 出は自粛中である。希望や状況 をみながら、短時間の散歩、敷 地内のサツマイモ畑の世話、ベ ランダでタオル干しなど外気に 当たる支援がなされている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	個人管理出来ていない。施設の 立て替え金を利用している。		

自己評価	外部評価	項 目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話やビデオ会議システム(ZOOM)を活用した面会の支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感のある展示物の掲示している。</p>	<p>リビングの南側が窓になっており明るく、ソファなどを置き、ゆったりと過ごせるスペースとなっている。壁には日付けを掲示し、手作りで季節の花・実・葉などを貼り、会話のきっかけにしている。毎日の清掃により清潔で居心地よい環境になるように努めている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>自由な席配置を実施している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使われていたものや写真などを飾っている。</p>	<p>室内の配置(自宅で使っていた家具や備え付けのベッド)は、個々の希望にあわせ、また床の一部に畳を敷くことも可能となっている。大切な写真や遺影など思いにそった居室作りの支援がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>フロアは段差がなく、ピクトグラムを使いトイレ等を分かりやすい。掲示物では、共有スペースには日付が分かるような配慮をしている。</p>		

V アウトカム項目(せせらぎ) ← 質問紙法調査後、平均値にて記入

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	朝礼時、社内研修時における理念の唱和を行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域交流の場として、餅つき大会・夏祭りなど実施している。そのおかげで地域の方より、野菜の寄付がある。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	施設内でとどまっているように感じる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在は奇数月に開催(町内会長、民生委員)しており、その内容を自社ミーティングにて活用している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	会社としては、不明な点は連絡を取り合い、協力関係は築けている。一個人としては取り組めていない点が合える。		

自己評価	外部評価	項目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	リスク身体拘束委員会の開催(月1回)家族報告や記録物にも詳細を残しており、加えてリスク身体拘束委員会での共有を行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止に関する内部研修にて、知識も深めており、加えて社内コンプライアンス委員会にて、社内通報制度がある。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	後見人制度を理解する努力をしているが、職員によっては理解がまちまちである。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前に説明を行い、同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族面会時などに意見を伺う事はある。現在は、感染症対策の為、中止しているが、家族懇談会を開催し意見を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全職員アンケートを行っている。実現可能な内容に関しては反映されている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人チャレンジ目標を基に、面談や相談の場がある。(2回/年) やりがい、向上心については、一律には難しいです。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修参加の機会がある。また、資格取得に向けた支援体制(OJT・勉強会など)がある。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修などで退職したスタッフの転職先の会社に外部講師を依頼し、研修を実施した。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>新規利用者などの情報共有は、文書にてまとめ、他職員と共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族からの情報を基に、よりよい関係が築けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>家族、本人の意向を尊重し、段階的にケアの提供を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>出来ない事をさりげなく支援し、出来ることは任せる介護に配慮している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>外来受診時には、家族同行も依頼し、情報共有を行っている。面会については、現状直接面会の代替として、電話面会、ZOOM面会を行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族様とは関係構築が出来ているが、感染症対策に伴い、他との交流が途切れており、不安を感じている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同士の席移動に自由をもたせ、利用者同士の談笑支援行っている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	退去された利用者であっても、次施設への情報共有や家族との傾聴を通し、関係を維持した。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	リスクを考慮しながら、ご本人の思いや希望を尊重し、フェイスシートの更新、アセスメントの修正を行っている。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	フェイスシートに生活歴や経過などをまとめ介護にて活用している。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	日々の生活の様子を注意深く観察し、小さな変化にも気づき、把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	月1回のモニタリングを通して、利用者ごとの対応をチーム共有している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアの見直しについては、申し送りノート、ミーティングを活用する。支援が業務にならないようご本人に合わせて、行えるよう取り組んでいる。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご家庭の料理などの持ち込み対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	散歩やマッサージなど筋力の低下にはならないように努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	状態変化について訪問看護と協働して行っている。また、医療機関との連絡体制も出来ている。かかりつけ医とは、定期受診にて情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	朝礼時に利用者の状態報告を行い、健康観察(1回/週)実施している、その上で医療機関への受診といった判断などを行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関の連携室との関係性も確保している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期について家族との話し合い、希望などを尊重し、看取り支援を行えている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを基に、研修や実地訓練などを行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難マニュアル、防災マップ作成した上で各種避難訓練の実施している。今後、水害訓練や地域での協力体制が未確立する必要がある。		

自己評価	外部評価	項目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	スピーチロックを行わないよう丁寧な言葉使いを心掛け、目上への尊敬の念を持って接している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定支援に関する取組みを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	自分らしい生活の配慮をし、多忙な業務に追われて、実現できない事もあります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には、ご自身での整容支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立の説明や味付けに興味を持ってもらえるように、調理などの家事動作に役割を持ってもらっているが、現在コロナ対応にて、様々自粛している。		

自己評価	外部評価	項目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	個別の嗜好品購入依頼をしている		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	歯科の定期受診対応や毎食後スタッフでの口腔ケアも行っている		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	トイレでの排泄を心掛けながら，排泄表を活用し，排泄習慣を把握し，介助に当たっている。		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	排泄表を用いての排便・排尿管管理しながら，薬剤以外でも食品(乳製品)を活用し支援している。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	曜日や時間が決っているが，入る入らないや，湯舟を使うかなど，個人の希望も踏まえながら様々対応している。		

自己評価	外部評価	項目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>就寝時間の自由度が高く設定し、寝具にも注意を払っている。さらに加えて昼寝という自由もある。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬情含めて、服薬管理に注意し、連絡ノート活用し行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内、散歩やベランダでの日光浴実施。 ・季節ごとのレクリエーションやお誕生日会の楽しみごとを増やしている。 ・家事援助動作を行って頂いている。 		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>現在、感染症対策にて外出出来ないが、通常であれば、買い出しやゴミ出しを手伝ってもらっている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>個人管理出来ない。施設の立て替え金を利用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話やビデオ会議システム(ZOOM)を活用した面会の支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感のある展示物の掲示している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>自由な席配置を実施している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使われていたものや写真などを飾っている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>フロアは段差がなく、ピクトグラムを使いトイレ等を分かりやすい。掲示物では、共有スペースには日付が分かるような配慮をしている。</p>		

V アウトカム項目(さえずり) ←質問紙法調査後、平均値にて記入

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームガーデンの家川内

作成日 令和2年12月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	30	コロナ禍で往診が出来ない中でも正確な情報を伝えられるようにする。	受診表の書式を変更し主治医に伝える情報内容をより正確にする。	安佐医師会の書式を活用し、事業所に合った書式へ変更する。	令和3年3月末まで
2	20	現状として全職員がタブレットの操作ができないので、誰でも操作できるようにしていく。	全職員がタブレット操作できるようにする。	マニュアルを基に操作できる職員が出来ない職員へ操作方法を教えていく。	令和3年3月末まで
3	11	業務が忙しく、管理者とコミュニケーションを取る時間がなかなか取れないので、月1回行っているミーティングには参加してもらおう様にする。定期的なアンケートの実施。	管理者がミーティングへ参加し、積極的にコミュニケーションを取るようになる。定期的なアンケートの実施。	スケジュール調整をしてもらう。 サービス向上委員会を軸に定期的なアンケートの実施を行う。	令和3年3月末まで
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。